

令和元年8月～令和2年7月 事業計画

1 概要

M I C E開催を地元事業者のビジネスチャンスにつなげていくために、M I C E主催者のニーズに即したモノやサービスを提供できるよう地元事業者のスキルアップを図るとともに、受注拡大に向けた体制、仕組みづくりを行う。

2 地元事業者のスキルアップ

(1) M I C Eスクールの実施

地元事業者の更なるスキルアップを図り、M I C E業務の受注拡大を図るため、M I C E関連ビジネスに興味がある地元事業者を対象としたセミナーをF F Gなどと共催する。

(2) 「出島メッセ長崎」開業2年前イベントへの開催及び参画

令和3年11月の「出島メッセ長崎」開業に向けた機運醸成を図るために開催する開業2年前イベントにおいて、長崎M I C E事業者ネットワークが主体となって飲食店等をはじめ幅広い地元事業者の参画を促し、今後のビジネスチャンスにつなげていくためのきっかけづくりを行う。

【開業2年前イベントの概要（案）】

ア 日 時 令和元年11月28日（木）～12月1日（日）予定

イ 場 所 長崎駅前かもめ広場ほか

ウ 対 象 市民及び市内事業者

エ 内 容 ステージイベントの企画、出展ブースでの飲食・サービスの提供、参画店舗でのサービス提供等

3 部会制からプロジェクト制への移行

(1) 事業推進体制

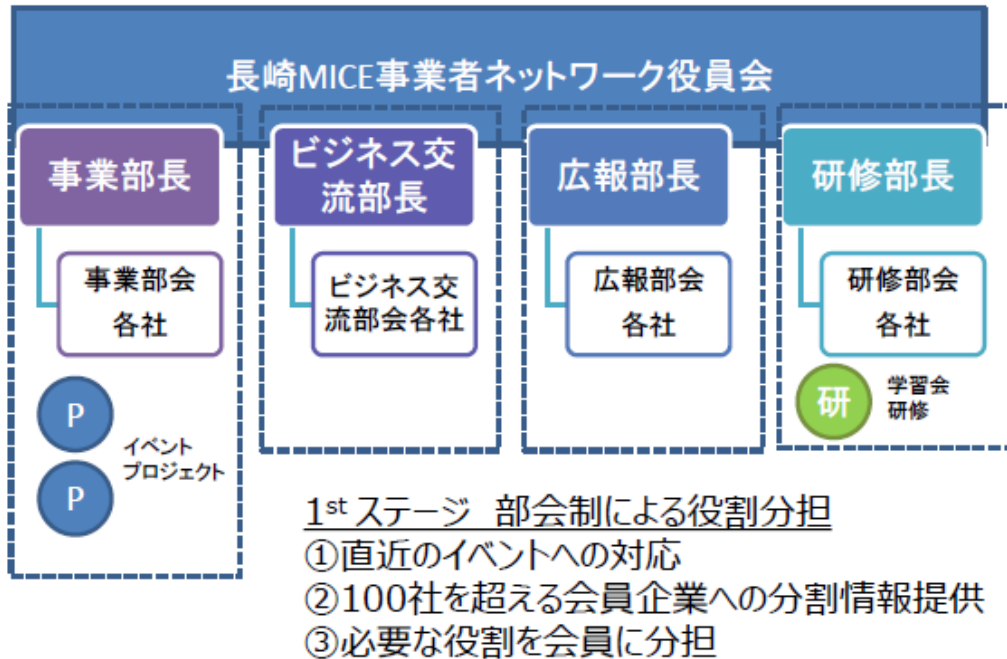
ア これまでの体制（部会制）

平成29年度から、下記の4つの部会を設置し事業推進を図った。

《部会名と事業内容》

部会名	事業内容
事業部会	地元事業者が相互に連携し、M I C E業務の受注拡大を創出するための事業
ビジネス交流部会	地域に貢献する継続可能なM I C E事業を推進するための事業
広報部会	交流拠点施設整備推進の機運を高めるための事業やその他情報発信
研修部会	M I C E業務に関わる地元事業者のスキルアップを図るための事業

《部会制のスキーム図》



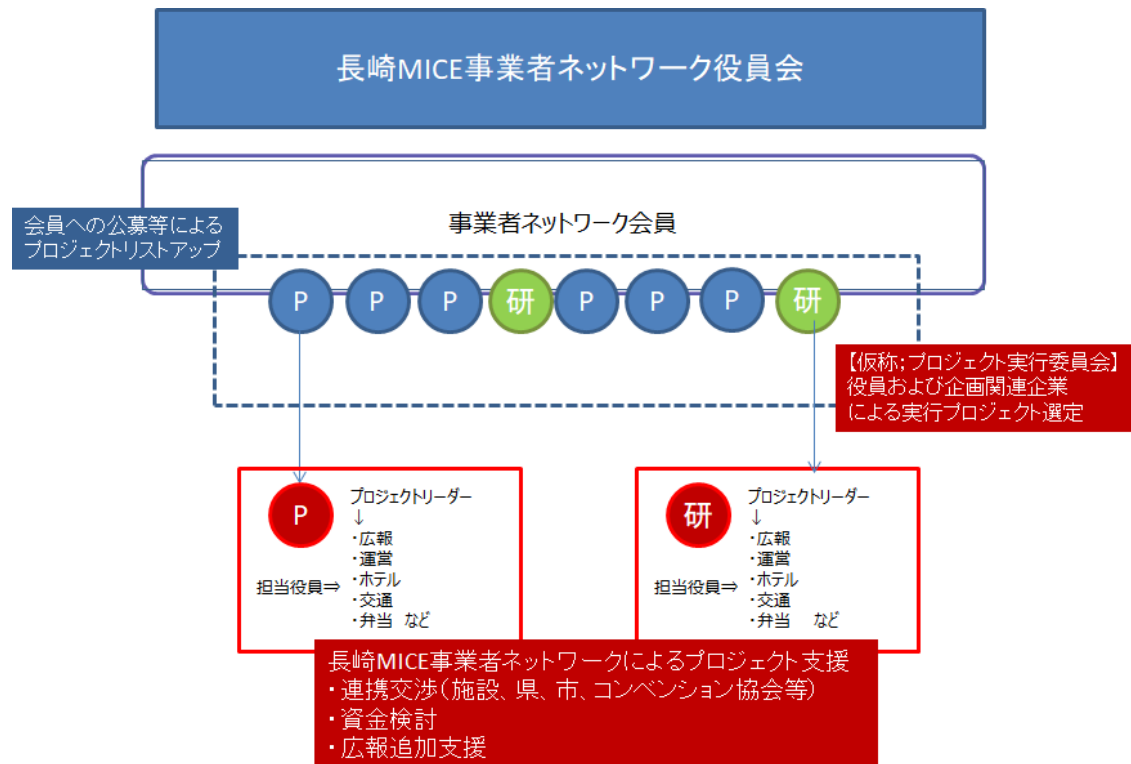
イ これまでの体制の問題点

- ✓部会間の業務量、情報量の温度差
- ✓情報の偏り
- ✓事業者ネットワーク本体としての方向性が見えづらい
- ✓イベント／研修が部会に依存しているため対応社が限定されがち

ウ 部会制の問題点を解消し、より具体的な活動への方策(案)

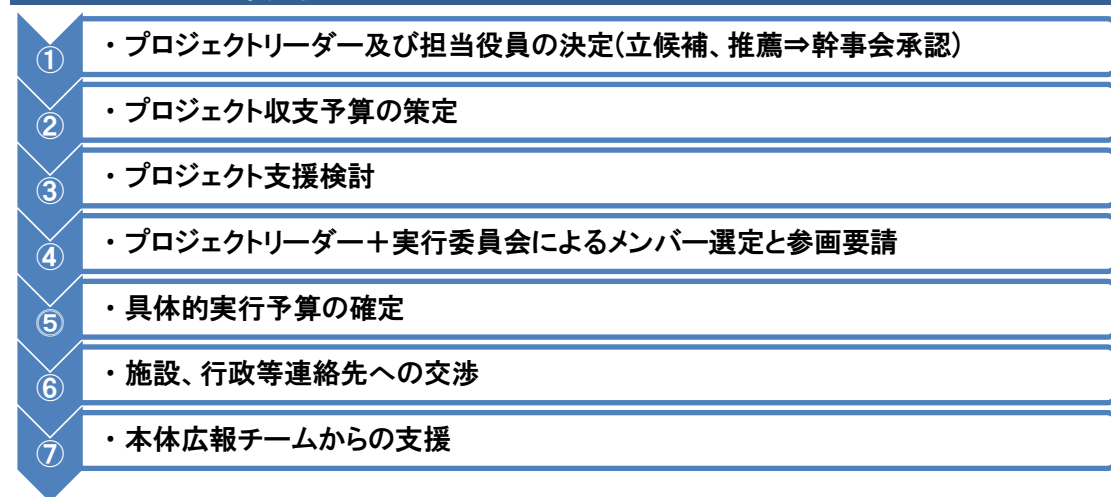
- ✓情報の一元化、公平化のため、部会制を解体しプロジェクト制に移行
- ✓役員直結の広報チームをもとに、一元化された情報共有(発信)を図る。

《プロジェクト制のスキーム図》



《プロジェクト推進事例》

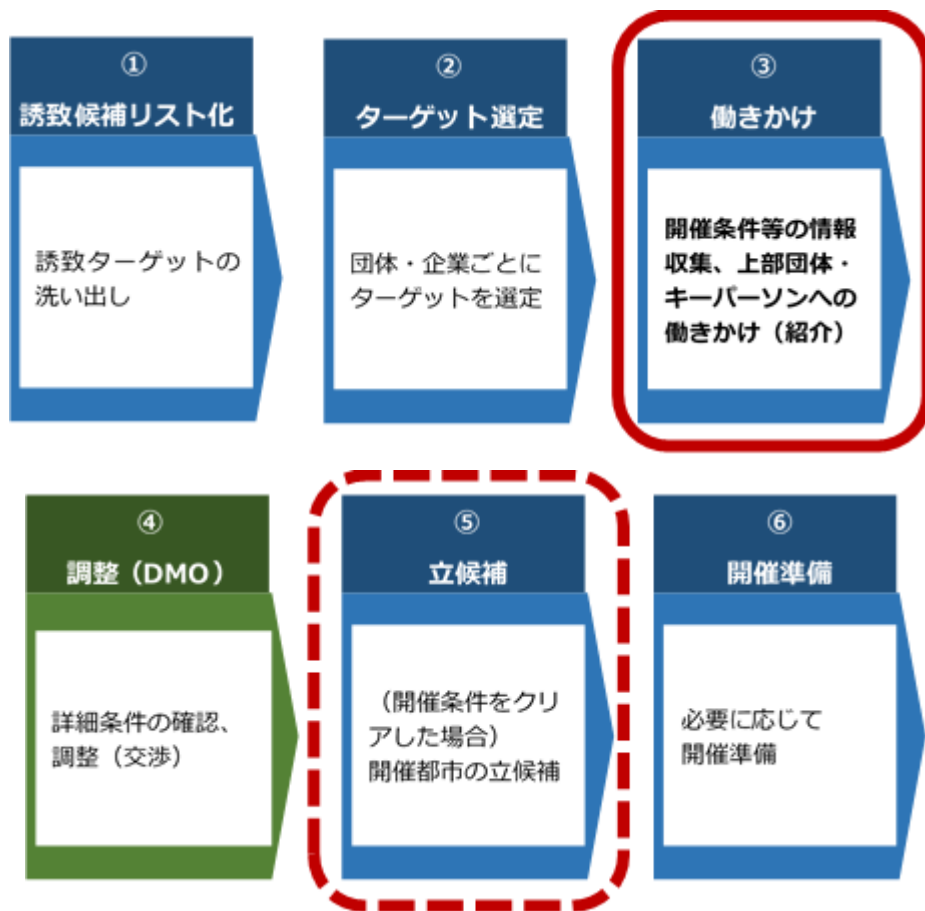
プロジェクト実行委員会によるイベント事業等公募、提案の検討後、具体的に実行されるイベントが確定。



4 自立的な組織運営の確立に向けて

- (1) 長崎MICE誘致推進協議会の予算から、活動に伴う支援を受け、組織体制の強化を図る。また、自立した運営を図るため、会費徴収を含めた予算のあり方について、検討を行う。
- (2) ネットワーク会員に対する幹事会の経過やそのほかの告知については、迅速かつ一元的な情報共有のため、メールアドレスを登録いただき、メールにてお知らせする。

【参考】各団体などにおける大会誘致の取組み（イメージ）



- ① 各団体・企業は、それぞれ参加実績のある大会等から、誘致の可能性のあるものを洗い出します。
- ② 各団体・企業は、～3,000人程度の九州大会以上の学会・大会で、誘致可能性の高いターゲットを選定します。
- ③ **各団体・企業は、開催条件等の情報収集を行うとともに、大会開催に関して決定権を持つ上部団体やキーパーソンに対して、長崎開催の働きかけを行い、長崎国際観光コンベンション協会 (DMO) につなぎます。**
- ④ DMOは、施設運営者や長崎市と連携し、キーパーソンと開催条件の確認や調整（交渉）などを主体的に行います。
- ⑤ **各団体・企業は、開催条件をクリアした場合、開催都市として立候補します。**
- ⑥ 上部団体の理事会等において長崎開催が決定した場合、各団体・企業は、必要に応じて受入準備を行います。

※ DMO及び施設運営者は、③～⑥の活動について、連携して支援します。

【連絡先 長崎国際観光コンベンション協会 095-823-7423】